



## 1. はじめに

秋も深まり紅葉が進んでおりますが、最近では雨に混ざり雷や霰も降ってきて寒さも増しています。当作業所からも岩木山の紅葉と雪模様のコントラストが綺麗に見えておりますが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？

それでは、最近の工事の様子を皆様にお届けします。最後まで読んでいただけたら幸いです。

## 2. 場内全景（10月25日 ドローンによる空撮）



## 3. この1ヶ月の主な作業（10月初旬～11月初旬）

①鉄筋工事 地上 1677.3ton	現在は、1Fから2Fの柱、梁、床、壁の鉄筋を組立てております。 上記の写真を見て頂ければ分かるように段々と形になってきています。	
②型枠工事 地上 29627.98㎡	型枠工事は、コンクリートを流し込む枠を作る工事で、躯体の形はこの工事で決まります。客席もどんどん組み上がっています。次回には形がよく分かると思います。	
③コンクリート工事 5253.55㎡	コンクリート工事は、ポンプ車で打設をした後に左官によりコテを使い表面をきれいに均します。場所によっては、表面がそのまま現れる所もありますので、左官も細心の注意を払って作業しています。	

## 4. 工事内容の紹介

今回紹介する工種は「型枠工事」です。

### ①型枠工事とは？

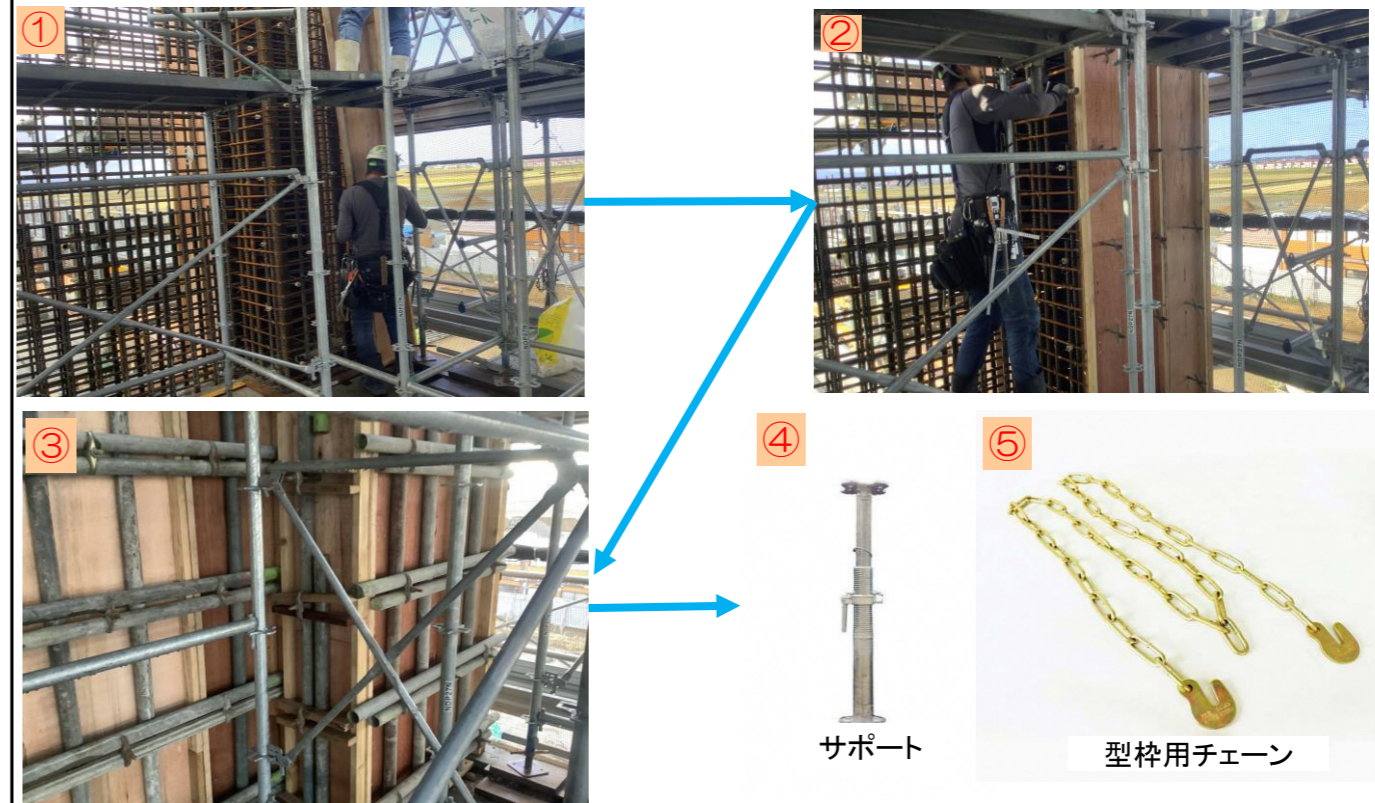
・型枠とはベニヤ板や桧木(角材)などを用いて、コンクリートを流し込む枠を作る工事です。

この型枠により、柱、壁、梁などの形や大きさが決まります。

### ②柱の型枠

・鉄筋工で柱の鉄筋を建てたら大工が柱の型枠を組立てます。(①,②,③)

その際に、コンクリート打設で型枠が歪まない様に、チェーンやサポートなどで固定します。(④,⑤)



### ③壁、梁型枠

・柱の型枠を建てたら、次は壁や梁の型枠を組立てます。

壁や梁の型枠は片側を建て、鉄筋工に引き渡し、梁、壁の配筋を行ってから反対側の型枠を組立てます

(⑥,⑦)

